

## 1 学校教育目標

「進んで学習する子ども」「仲良く助け合う子ども」「礼儀正しい子ども」「元気でじょうぶな子ども」

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	◎ 夢 はばたく 梅島小学校 夢の実現に向けて、子ども、教職員、保護者・地域が共に支え合い高め合う学校
○児童・生徒像	【梅島ブランド】㊦：運動で体を動かしきたえ合い㊧：目で見つめ心でみつめて思い合い㊨：じっくり考え学び合い ㊩：まじめにやりぬき高め合い
○教師像	人間愛にあふれ、明るく前向きに対応する教師（教師の人間性） 子どもの実態を的確に把握し、適切な指導ができる教師（教師の専門性） 主体的に課題解決をしながら、職務を遂行できる視野の広い教師（教師の主体性）

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

PTA や開かれた学校づくり協議会など、地域の方の学校への信頼は厚い。特別な配慮を要する児童や個別に支援を要する児童がおり、組織的に対応している。

### 【前年度の成果と課題】

#### ◎ 重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

前期に実施した区学力に関する総合調査では、国語・算数ともに昨年度より上回り、目標とする通過率85%に到達した。基礎的事項の確実な定着のため、「パワーアップタイム」・「放課後タイム」等の補充学習を継続し、つまずきの解消に努めていく。

#### ◎ 重点的な取組事項－2 体力向上に向けた継続的な取組

投力は重大な課題である。投力を向上させるため、具体的な指導の工夫が十分にできなかった。体力テスト対策ではなく、日常的な取組を工夫していく。

#### ◎ 重点的な取組事項－3 安全・安心な学校生活環境の充実

特別支援教育の充実や、いじめ防止に向けた取り組みをさらに充実させ、安心・安全な生活環境を整える。

#### ◎ 重点的な取組事項－4 保護者や地域と共に子供を育む活動の充実

「情報発信」については高い評価を得た。「引き続き、積極的な情報発信と安全・安心を第一に考えた学校行事を実施し、保護者や地域との連携を深めていく。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプランの着実な実行（梅島ブランドの「じ」）	○	◎	◎	◎	◎
2	体力向上に向けた継続的な取組（梅島ブランドの「う」）		○	○	○	○
3	児童の安心・安全な学校生活環境の充実（梅島ブランドの「め」）	○	○	○	○	○
4	保護者・地域、教職員、子どもが協働する活動の充実（梅島ブランドの「ま」）	○	○	○	○	○

## 5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的・基本的な学習事項の確実な定着		年度初:2教科とも85%以上 年度末:2教科とも70%以上				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	① パワーアップタイムの確実な実施	○全学年 ○国語・算数	○毎週	○火曜(国語) 水曜(AIドリル) 金曜(読書)○担任 ○漢字・計算等 ○毎週水曜日はAIドリルを実施する	○パワーアップテスト 1月～2月に実施	○90点以上の通過率:90%以上	自己評価の際に記入		
継続	② 放課後補習教室の確実な実施	○学力のC/D層 ○国語・算数	○毎週火曜日の放課後	毎週火曜日の放課後 Aグループ:補充学習(担任2名) Bグループ:課題の取組(担任1名+副担任)	○区調査再実施 2月:現学年の内容	○区調査再実施:国語・算数 通過率:70%以上			
継続	③ 家庭学習習慣の定着	○全学年 ○国語・算数	○6・9・1月の1週間	○担任・保護者 ○「家庭学習カード」による学習習慣の定着	○各学年の目標値の達成率	○家庭学習週間:目標達成率75%以上			
継続	④ 授業改善の取組	○全教員	○毎時間	AS振り返りの重視 ①「めあて」の達成度 ②本時で学んだこと ③できなかったこと	○教員アンケート:1月	○教員アンケート:「毎時間行った」の回答60%			
継続	⑤ ICT機器の活用	○全教員 ○全教科	○年間	タブレットを活用した授業実践	○学校ICT活用スキルチェック表 ○教員アンケート:1月	○80%以上の教員が「できる」の回答10項目以上 ○「使える・使った」の回答を90%以上			
継続	⑥ 小中連携・校内研の実施	○全教員	○年間	○小中連携授業年間1回	○教員アンケート:1月	○教員アンケート:「自身の授業力が向上した」の回答90%			

重点的な取組事項－2		体力向上に向けた継続的な取組(梅島ブランドの「う」)			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力調査結果の向上		区平均と同じかそれ以上の項目 40%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1)投力の改善	○各学年 1・2年生:5m以上 70% 3・4年生:10m以上 60% 5・6年生:15m以上 50%	①投力向上のための継続的な取組 ②投動作獲得のための遊びの実施 ③投力向上のための授業改善	自己評価の際に記入		
(2)食育の実践	○目標残菜率 5%以下 ○お弁当コンクール応募者 100名以上	①給食だよりによる食育啓発 ②もりもりウィーク(年間2回)による啓発 ③お弁当コンクールの実践による家庭への啓発			
(3)歯科治療率の向上	○治療率 70%以上 (治療済/要治療者)	①保健だよりによる啓発 ②個人面談での直接指導 ③学校メールを活用しての啓発			

重点的な取組事項－3		児童の安心・安全な学校生活環境の充実(梅島ブランドの「め」)			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の安心・安全な学校環境の整備		学校評価アンケート :すべてのアンケート項目において、肯定的回答を80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) いじめ対策の推進	いじめの解消率 年度末までに100% (発生後3ヶ月未満を除く)	①アンケートの実施(年3回) ②いじめに関する授業の実施(年間1回) ③児童によるいじめ防止に向けた自治的な取組の実施(年間1回)	自己評価の際に記入		
(2) 体罰防止の徹底	体罰案件0件	①服務事故防止研修会(年間3回) ②アンケートの実施(年間1回)			
(3) 特別支援教育の充実	保護者アンケート(多様性の認知について) :「そう思う」50%以上	①UDL(Universal Design for Learning)の実践 ②多様性の認知に基づいた教育実践(呼名「さん」、特別支援教室との連携、復籍交流の実践)			

重点的な取組事項－４		保護者・地域、教職員、子どもが協働する活動の充実（梅島ブランドの「ま」）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域、教職員、子どもが協働する学校づくり		学校評価アンケート :すべてのアンケート項目において、肯定的回答を80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) 伝統・文化体験の実施	①年間1回4年生以上参加児童のアンケートで肯定的回答80%以上 ②年間1回6年生参加児童のアンケートで肯定的回答80%以上	①生花体験教室の実施  ②日本画体験教室の実施	自己評価の際に記入		
(2) 児童によるSDGsへの取組	各方策年間1回以上	①もったいない運動 ②清掃・ゴミの分別 ③リサイクル活動の実施			
(3) 情報発信の充実	保護者アンケート :「そう思う」50%以上	①学校ホームページを活用した教育活動やPTA、協議会の活動の定期的な配信 ②学校メールの効果的な配信に向けた体制の充実 ③ICTを活用したアンケートや連絡等のペーパーレス化			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。